

「尾母小・中学校の三味線・浜踊り伝承活動の取組」

1 学校名

徳之島町立尾母小・中学校

2 学年・人数

小学1年生から中学3年生（計8人）

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

ア 三味線教室

(ア) 令和5年 5月16日～令和6年2月16日
総合的な学習の時間（体育館，図書室）

イ 浜踊り

(ア) 令和5年 9月 9日（体育館）
地域の方々による指導（体育館体育館）

(2) 発表の日時・場所

ア 三味線教室

(ア) 令和5年 9月10日 敬老を祝う会（尾母校区公民館）
(イ) 令和5年10月29日 学習発表会（本校体育館）
(ウ) 令和6年 2月18日 島われんきゃの祭典（学習センター）

イ 浜踊り

(ア) 令和5年 9月17日
尾母小中学校・尾母校区・尾母保育所合同体育大会（本校校庭）
(イ) 令和5年 9月23日 秋ムチ（尾母集落内）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能，伝統行事について

(1) 名称

ア 三味線教室（しゃみせんきょうしつ）

イ 浜踊り（はまおどり）

(2) 由来

ア 三味線教室（しゃみせんきょうしつ）

尾母地区は，昔から三味線演奏の盛んな地域である。特色ある教育活動の一環として，総合的な学習の時間を利用して，地域の人材を講師として招聘し三味線教室を長年実施している。今年度も「子ども公民館講座」として，年間15回の三味線教室を実施している。

イ 浜踊り（はまおどり）

浜踊りは稲作の収穫完了に伴う感謝祭で，感謝の気持ちを神様に捧げたのが始まりで，徳之島で最も古い踊りといわれている。男女の掛け合い歌で始まり，演舞形式で歌のテンポがだんだん速くなり踊れなくなったときクライマックスを迎えて終わる。

5 保存会（育成会）や地域との連携の具体

(1) 三味線教室について

育成会と連携して、年度初めに校区内・町内の発表の場を確保し、発表に合わせた練習計画を年間 15 時間教育課程に位置付けて実践している。講師には、地域の人材を活用させていただいている。

(2) 浜踊りにについて

体育大会の練習の中で位置付けて、体育科教師が中心となって指導に当たる。9月の土曜授業においては、地域から講師を招聘し、「男踊り」「女踊り」を本校体育館にて指導させていただいている。

6 文化財伝承・活用の取組に工夫した点

(1) 三味線教室について

本校は小中併設で特認校でもあるために児童生徒の三味線のスキルに個人差が見られる。そのため、演奏できる職員も指導に加わり、習熟度別の練習を取り入れている。

(2) 浜踊りにについて

学校に地域の人材を招聘し職員を対象とした練習会を実施して、体育大会練習時に多くの職員で指導に当たる体制を構築したり、上級生が下級生に指導する時間や場面を確保したりするなど、伝承方法についても子供たちに身に付けさせている。

7 取組の様子（練習状況・発表の場など）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【教職員】

三味線の演奏については、児童生徒及び職員・保護者全てが誇りを感じており、練習や指導（相互の学び合いや高め合い）も大変熱心である。浜踊りに対しても、児童生徒、職員、保護者、地域の方々の全てに「決して絶えさせてはならない」という強い意識がある。